

研 究 テ ー マ	在宅療養を推進するための訪問看護技法の開発に関する研究
研 究 目 的	「医療処置管理看護プロトコール」の一部について、有用性と活用条件を調査し推敲することを目的とした。この調査を基に、さらに本プロトコールを推敲し、医療依存度が高い利用者に対する安全な訪問看護サービス技法の提案を目的とした
研 究 方 法	以下の2段階の方法を用いた 1. 郵送調査:訪問看護事業所を対象とし、看護プロトコールを1ヶ月間活用し、その評価を調査 2. 聞き取り調査:訪問看護組織の管理者に、看護プロトコールに対する意見を聴取
結 果 及 び 考 察	1. 以下の評価が得られた 1) 調査用看護プロトコールの活用状況、2) 看護プロトコールの有用性、3) 訪問看護における看護プロトコールの意義、4) 看護プロトコールを活用する際に生じるであろう課題と今後の看護プロトコールの普及・発展のための方法 2. 考察として、以下今後の課題が見出された 1) 訪問看護活動における有用性を促進するための推敲、2) 実践的な普及と推敲、3) 医師との協力関係を円滑にできるツールとしての推敲、4) 福祉職との関係を円滑にするためのツールとしての開発
研 究 助 成 金 名	平成11年度 厚生省老人保健事業推進費等補助金事業